



鳴門教育大学 学長  
山下 一夫さん〔齋田〕

やました・かずお。1953年生まれ。昭和63年に鳴門教育大学の講師となり、平成10年に教授となる。その後、平成28年から第7代鳴門教育大学長を務め、全国の教員養成大学の手本となる教育モデルを次々と発信。研究分野は臨床心理学・生徒指導論で、カウンセラーとしても活躍。



鳴門ゆかりの輝く

File.55

「京 都から鳴門に移り住んで30年以上になります。鳴門は素晴らしい。大好きです。自然、食べ物、観光、文化だけではなく、日本さらに世界に展開している企業がいくつもあり、鳴門教育大学もその一つです。鳴門の人はもっと自信と誇りを持ってほしいのに」

来年10月に創立40周年を迎える鳴門教育大学は、教員就職率全国第1位という輝かしい

実績を誇ります。しかし、初めからその地位を手にはしていません。文科科学省から非常に低い評価を受け、全国放送のテレビで取り上げられたこともありません。た。教員の中には、学生・学校・教育委員会などのニーズをあまり考慮せず、自分たちが良かれと思う教育研究をしている人もいて。それが歯がゆくて、学長になつてからは、現場のニーズを尊重するようにと

言い続けています。そうした改革を進めた結果、「鳴教大モデル」と呼ばれる特色ある取り組みがいくつも誕生。非常に高

い評価を得る、真の教師教育のリーダー大学となりました。その一方で、地域貢献も忘れてはなりません。「鳴門は小学校の英語教育が全国でもトップクラスです。鳴門市の教員と本学の教員が協力し、小学校の英語教育に取り組んでいます。また、市が主催する理数オリンピックの問題作成や特別講義など、多くの場面で地域の教育振興に関わっています。それから、国の支援を受けて、小学5、6年生と中学生を対象に『ジュニアドクター発掘・養成講座』を本学が主催していますが、もっと多くの鳴門の子どもたちに参加してもらいたいですね」。

教師教育のトップを走ることが  
鳴教大の存在意義

最後に、これからの子どもたちに期待することを伺うと、「子どもの心をいつまでも持つてほしい。子どもの心とは感動する心。小さい時に小学校のグラウンドが広く見えたように、そういう気持ちを忘れずに。それと同時に大人としての知恵を学ぶことも大切です。知識を現実場面においてどう生かすのかというのが知恵。経験を積み重ねて大いに知恵のある大人になつてほしいです」と話す山下学長。これからも教師教育をリードし続けてくれることをごきよう。



世帯数 26,155世帯(-104)

人口 56,540人 (-285)

出生 男17人 女12人

死亡 男29人 女37人

転入 男129人 女136人

転出 男261人 女248人